



学習空間における生徒間コミュニケーションの比較分析

福井, 彩乃

(Citation)

課題研究優秀ポスター, 2026:35

(Issue Date)

2026

(Resource Type)

conference poster

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100505014>



学習空間における生徒間 コミュニケーションの比較分析

神戸大学附属中等教育学校 13回生 6230 福井彩乃

はじめに

キーワード 学習空間／座席配置／協同学習

背景・目的

学習空間は学びの質に影響する

しかし学校では十分に検討されていない[2]

⇒座席配置や学習空間の違いが「生徒間コミュニケーションにどのような影響を与えるのか」を明らかにする

⇒協同的で持続可能な学びを支える学習空間の提案

研究意義

・生徒間コミュニケーションは
学びの質を左右する[2]

・相互作用を通して思考を深める
学習環境が求められている[3]

文献調査

①協同学習とは？[3]

明確な課題の共有や小集団における相互依存
成果の共有
個人と集団の責任の両立

②中庭の効果[5][6]

・自然光・風・開放感

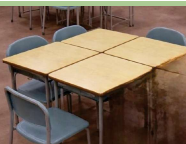
⇒心理的緊張が下がり

会話が生まれる

※天候や気温の影響を受けやすい



実験



一斉型

島型

アゴラ

	所要時間	偏り指数	進歩率	正解率
一斉型	600	0.21	0.92	0.88
島型	441	0.12	0.89 >> 0.76	
アゴラ	436	0.12	0.98	0.95
効果量	集中度	快適性	対話のしやすさ	総合評価
一斉型&島型	0.44	0.077	0.61	0.84
一斉型&アゴラ	0.49	-0.17	0.63	0.63
島型&アゴラ	0.014	0.25	-0.045	0.40

	一斉型	島型	アゴラ
所要時間	長	中	短
発言の偏り	大	小	小
進歩率	高	中	高
正解率	中	低	高

分析方法

- ・録音（発話割合）
- ・クロスワード（正答数）
- ・アンケート

- ・一斉型と島型の座席配置の違いは発話量や発言の偏りに差を生むのか？
- ・アゴラのような開放的な空間は生徒の心理的距離を縮め発話を生むのか？
- ・環境要因は生徒の集中度や作業効率に作用するのか？

	一斉型	島型	アゴラ
集中度	低	中	高
快適性	低	中	高
対話のしやすさ	低	中	高
総合評価	低	中	高

一斉型

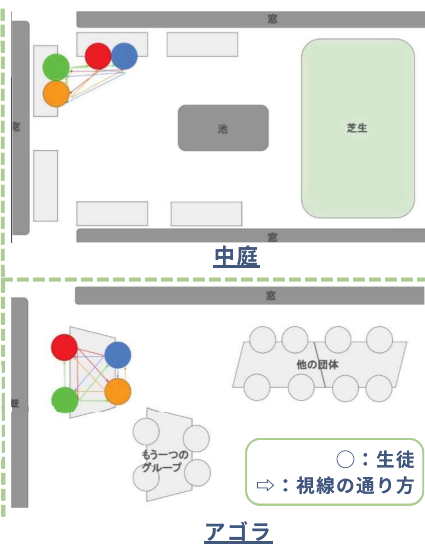
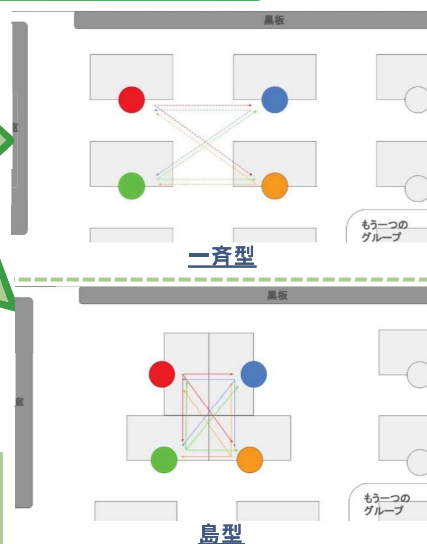
・視線が通りにくい
⇒資料共有が難しい

島型

・顔と資料が同時に見える
⇒情報共有がしやすい

アゴラ

・生徒同士の距離が近い
・自然に向き合いやすい
⇒会話や共同作業が簡単



まとめ

- ・視線の通りやすさはコミュニケーション成立の基礎条件
- ・生徒間距離と相互作用は課題遂行の進み方に影響する
- ・環境条件は集中度や快適性を介して学習行動を左右する

提案

- ・互いの顔と資料が同時に見える配置を基本とする
- ・生徒が自然に相互作用し、心理的距離を縮め、参加の均等性を高める学習環境を設計する
- ・音響・温熱環境を整備し集中しやすく作業効率を高める空間をつくる

今後の展望

調査対象の拡大、授業時間内の観察調査、実験方法の改善、オペレーションズリサーチを用いた学習空間の最適化

参考文献

- [1] 文部科学省 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総合的な探究の時間編 <https://www.mext.go.jp>
- [2] 佐藤学 『学びの共同体の挑戦—改革の現在—』 小学館（2018）
- [3] 国立教育政策研究所 「創造的な学習空間の創出に関する調査研究」 報告書 https://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pdf_seika/r05/r0506-01_kenkyuhonbun.pdf
- [4] 熊谷圭二郎・河村茂雄 協働的学習に対する生徒の意識に関する研究—修正版グラウンデッド・セオリーを用いて— https://www.jstage.jst.go.jp/article/jacmp/9/0/9_19/_pdf/-char/ja
- [5] 田村太一・林立也・阿部千聖 学校環境と学習意欲の関係性に関する研究（その1） 教室内やオープンスペース、校内の生活空間の環境評価と学習意欲の因果関係に関する検討 https://www.jstage.jst.go.jp/article/aije/88/806/88_233/_pdf/-char/ja
- [6] 坂口武司・山中俊夫・甲谷寿史・桃井良尚・相良和伸 学校建築におけるコミュニティスペースの環境条件と利用実態に関する研究—中高一貫校における中庭及び隣接屋内空間の年間利用実態調査— <http://www.arch.eng.osaka-u.ac.jp>

2026年3月提出